**TECHNICAL GUIDE: ARCSERVE REPLICATION/HA 18.0** 

# Arcserve<sup>®</sup> High Availability 18.0 フルシステム HA シナリオ

## Linux 環境導入ガイド



## 目次

はじめに	3
1. コンポーネントの説明	5
2. インストール前の留意事項	6
2-1 動作要件および注意/制限事項等の確認	6
2-2 インストールの順序	6
2-3 ファイアウォールの設定	6
2-4 最新のサービス パックを適用してください	6
3. コントロール サービスのインストール	7
4. マネージャのインストールとライセンスの登録	13
5. Linux 環境への RHA エンジンインストールの事前準備	17
5-1 インストール時の注意点	17
5-2 エンジンのインストーラ ファイルの入手方法と準備	18
5-3 Linux 用エンジンに必要なソフトウェアについて	19
5-4 エンジンに必要なソフトウェアの手動インストール ("5-4"のレポジトリが利用できない場合)	19
6. Linux サーバへのエンジンのインストール	20
7. フルシステム シナリオの作成と実行	26
8. 無停止テスト(アシュアード リカバリ)の実行手順	37
9. ファイルのリストア手順	40
10. 代替 VM への手動切り替え手順	44
11. 製品情報およびお問い合わせ情報	46
11-1 製品情報	46
11-2 お問い合わせ	46

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます (ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、 事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接 損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

#### 改訂履歴

2019年8月	Rev1.0	初版作成	
2020年12月	Rev1.1	RHA 18.0 SP3 対応	

はじめに

本ガイドでは Arcserve Replication / High Availability 18.0 のフルシステム HA シナリオを VMware vSphere 環境もしくは、Microsoft Hyper-V 環境で構築する手順等について記載しています。

Arcserve Replication / High Availability 18.0 やフルシステム シナリオの概要および仕組みについて は、以下のドキュメントを参照ください。

- Arcserve Replication / High Availability 18.0 新機能紹介
   http://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/05/rha-180-new-feature.pdf
- ・ Arcserve Replication / High Availability の仕組み http://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/06/rha-180-arch-tech-doc.pdf

尚、Arcserve Replication / High Availability を利用する際の注意点や考慮点および対処方法については 以下のドキュメントをご確認ください。

・ Arcserve Replication / High Availability 13の現場技 http://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/06/rha-180-field-tech.pdf

#### 1. コンポーネントの説明

以下は Arcserve Replication / High Availability のコンポーネントです。

※文中での「RHA」は Replication / High Availability の略称です。

- Arcserve RHA コントロール サービス (インストール必須) シナリオの作成や稼働状況の確認など、レプリケーションの管理に必要なサービスです。 マスタおよびレプリカサーバと TCP/IP で通信が可能な Windows サーバに最低1台インストー ルします。本書では以降「コントロール サービス」と記載します。
- Arcserve RHA エンジン (インストール必須) レプリケーションを実行するコンポーネントです。 マスタ サーバ (レプリケーション元)と、仮想アプライアンス (レプリケーション先)の双方に インストールします。本書では以降「エンジン」と記載します。
- 3. Arcserve RHA マネージャ

コントロール サービス サーバに接続し、シナリオを操作するための管理コンソールです。 ActiveX コントロールとしてコントロール サービス サーバからダウンロードして使用します。 製品のインストーラを利用してインストール作業をする必要はありません。本書では以降「マネージャ」と記載します。

- 4. Arcserve RHA PowerShell (インストールは任意、本書では説明を省略) コマンドラインでレプリケーションの管理を行うためのコンポーネントです。 Arcserve RHA コントロール サービスと通信ができるコンピュータにインストールします。 (Windows PowerShell 1.0 以上がインストールされている必要があります)
  - Linux フルシステム HAシナリオ構成図



- ※1. コントロール サービスは Windows サーバ(仮想マシン、物理サーバまたは Hyper-V ホスト)に 導入します。
- ※2. 代替 VM はスイッチオーバー時に自動作成されます。

#### 2. インストール前の留意事項

#### 2-1 動作要件および注意/制限事項等の確認

Arcserve Replication / High Availability 18.0 の動作要件および注意制限事項や、その他の制限事項が 記載された製品マニュアルについては下記 Arcserve サポートの WEB ページをご覧ください。

動作要件

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-RHA-18-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

#### 注意制限事項

https://support.arcserve.com/s/article/2019042202?language=ja

#### 製品マニュアル

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-RHA/Available/18.0/JPN/Bookshelf.html

#### 2-2 インストールの順序

本ガイドでは便宜上コントロール サービスのインストールをエンジンのインストールより先に説明して いますが、実際にはエンジンのインストールをコントロール サービスのインストールより先に行っても 問題ありません。また、エンジンのインストール順序も特に指定していません。

2-3 ファイアウォールの設定

コントロール サービスをインストールするサーバで以下のポートを開いておいてください。

コントロール サービス:	TCP/8088
エンジン:	TCP/25000

- ※ SSL 設定をしてコントロール サービスを利用する場合には、TCP/443 ポートを開ける必要があります。
- ※ コントロール サービスおよびエンジンが使用するポート番号は変更することができます。変更方法は「Arcserve Replication/High Availability 18.0 管理者 ガイド」の「第8章: プロパティの設定」および「第21章: Arcserve RHA トラブルシューティング」をご覧ください。
- ※ Linux 環境へのエンジンのインストールはローカルで実行します。 リモートインストールはできません。
- ※ Linux 環境へのエンジン インストール時に、自動でポート(TCP/25000)を開きます。

#### 2-4 最新のサービス パックを適用してください

Arcserve Replication / High Availability 18.0 をインストールする前にサービス パックの公開状況を 確認してください。Arcserve Replication / High Availability 18.0 のサービス パックはこちらのサイ トで確認およびダウンロードできます。

https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3q8WAC/arcserve-rha-patchindex?language=ja

#### 3. コントロール サービスのインストール



Step2: [Arcserve RHA コントロール サービスのインストール] をクリックします。

<b>ORCSERVE</b> <sup>®</sup> Replication & High Availability			
コンポーネントのインストール ドキュメント サポート情報 CD の表示	Arcserve RHA コントロール サーゼスのインストール Arcserve RHA エンゲン のインストール Arcserve RHA PowerShell のインストール	Arcserve RHA 操作の単 一制御点です。CS には既 存のシナリオの全データが含 まれ、シナリオ関連の全タス りの管理に責任があります。 CS は、エンジンとマネージャ の両方と通信を行います。	
		酸了	

#### Step3: [日本語] を選択し、[OK] をクリックします。

Arcserve	e RHA Control Service - InstallShield Wizard	×
ځ	インストールで使用する言語を次の中から選択して下さい。	
	日本語	$\sim$
	OK( <u>0</u> ) キャンセル	

Step4: ウィザードが起動したら [次へ] をクリックします。



Step5: 使用許諾契約を最後まで読み、同意する場合は [ライセンス使用条件に同意する] を選択し、[次へ] をクリックします

记 Arcserve RHA コントロール サービス - Ins	stallShield ウィザー	۴	×
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みく	ださい。	arcs	serve <sup>.</sup>
Arcserve (USA), LLC または/お。 下、「Arcserve」と表記します 以下に定義する、インストーノ 連ドキュメント、および SDK す)用のエンド ユーザ ライセ 件」と表記します)。 本製品をインストールして使用 下の契約条件をよくお読みくす	よびその関連 、) しする Arcser (以下、併せ ンス使用条件 目する前に、 た た	会社または子会 ve ソフトウェア て「本製品」と ト (以下、「本 本製品の使用に を田多先では、ご	社(以 *製品、関 *表記しま 使用条 関する以 お客様は
●ライセンス使用条件に同意する(A) ○ライセンス使用条件に同意しない(D)			ED剧(P)
InstallShield	< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

Step6:	ユーザ名と所属を入力し、	[次へ]	をクリックします。
--------	--------------	------	-----------

ぱ Arcserve RHA コントロール サービス - InstallShield ウィザード ユーザ情報 情報を入力してください。	× arcserve
ユーザ名(U):  Administrator 所属(O):  Arcserve	
InstallShield	次へ回 > キャンセル

インストール先のフォルダを確認し、問題がなければ [次へ] をクリックします。

Step7: ※ 32 ビット環境にインストールした場合にはデフォルト インストールパスは以下に なります。

C: ¥Program Files (x86) ¥Arcserve RHA¥Manager¥

🖟 Arcserve	e RHA コントロール サービス - InstallShield ウィザード	×
インストーノ このフォルダ 別のフォル・	い先のフォルダ タ(こインストールする場合は、「)次へ」をクリックしてください。 ダ(こインストールする場合は、「変更」をクリックします。	arcserve
Þ	Arcserve RHA コントロール サービス のインストール先 C:¥Program Files (x86)¥Arcserve¥RHA¥Manager	: ¥     変更( <u>C</u> )
InstallShield -		
	< 戻る(B)	太へ(N) > キャンセル

#### [SSL 設定を使用] チェック ボックスにチェックが入っていないことを確認し、[次へ] Step8: をクリックします。

※ SSL 設定の詳細については「Arcserve Replication/High Availability 18.0 インス トール ガイド」の「第3章: Arcserve RHA のインストール、アップグレード、ア ンインストール」の「Arcserve RHA コントロール サービスのインストール」およ び「第5章: SSL 自己署名証明書のインストール」をご覧ください。

记 Arcserve RHA コントロール サービス - In	nstallShield ウ	ィザード		×
<b>SSL 設定</b> SSL を設定します。			arcs	serve
□ SSL 設定を使用 s	SSL ポート:	443		
●.CER 認証ファイル				
				参照( <u>R</u> )
○.PFX 認証ファイル				
				参照( <u>W</u> )
PFX パスワード				
○自己署名証明書				
InstallShield				
	< 戻る(8	) X	t∧(N) >	キャンセル

コントロール サービスのサービス アカウントを指定します。コントロール サービスのサ Step9: ービス アカウントは、デフォルトの [ローカル システム アカウント] から変更する必要 はありません。 [ローカル システム アカウント] のまま [次へ] をクリックしてくださ い。

撮 Arcserve RHA コントロール サービス - InstallShield ウィザード	×
サービス ログオン情報 ローカル アカウントを選択するか、ユーザ名とパスワードを指定してく <b>ついていまい</b> だざい	ve
Arcserve RHA コントロール サービス サービスには、 ローカル システム アカウントまたは特定のユ ログオンできます。 サービスのログオン用にローカル システム アカウントを選択するか、 ユーザ名と を指定してください。 ユーザ アカウントは <ドメイン>¥<ユーザ名> の形式にする必要があります	ーザとして :パスワード f。
●□-カルシステムアカウント①	
○このアカウント( <u>A</u> )	
ユーザー名:	
参照(18)	
パスワード:	
InstallShield	rtzn



※ コントロール サービスの切り替えの詳細については、「Arcserve Replication/High Availability 18.0 インストール ガイド」の「第3章: Arcserve RHA のインストー ル、アップグレード、アンインストール」より「Arcserve RHA コントロール サービ スのインストール」、および「Arcserve Replication/High Availability 18.0 管理者ガ イド」の「第11章: コントロール サービスの保護」をご覧ください。



#### Step11: [インストール] をクリックします。

🕼 Arcserve RHA コントロール サービス - InstallShield ウィザード	×
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。	arcserve
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。 インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をク リックすると、ウィザードを終了します。	りックしてください。 「キャンセル」をク
InstallShield <戻る(B)	<u>インストール(])</u> キャンセル

インストールが終了するまでお待ちください。

Arcserve	RHA コントロール サービス - InstallShield ウイザード	- 🗆 X
選択したプ	ログラム機能をインストールしています。	arcserve
1 <del>1</del>	InstallShield ウィザードは、Arcserve RHA コントE ルしています。しばらくお待ちください。	コール サービス をインストー
	ステータス: エンジン ファイルのコピー	
InstallShield –	< 戻る(8)	汰へ(N) > <b>キャンセル</b>

#### Step12: [完了] をクリックして InstallShield ウィザードを閉じます。



以上で、コントロール サービスのインストールは完了です。

4. マネージャのインストールとライセンスの登録

Step1: Windows スタート メニューから [Arcserve RHA 概要ページ] を開きます。

- ※ 下の図は Windows Server 2016 の画面です。
- ※ コントロール サービスをインストールしていないコンピュータから概要ページにア クセスするには、ブラウザで以下の URL を入力してください。
   http://[コントロールサービスのコンピュータ名]:8088/start\_page.aspx



コントロール サービスのインストール時に登録したサービス アカウントの認証情報を Step2: 入力し、[ログイン] をクリックします。

※ ブラウザのセキュリティ設定によってはこのサイト(http://[コントロールサービス のコンピュータ名])を信頼済みサイトに追加する必要があります。



Step3: [シナリオ管理] をクリックします

	х 🔎 т С 🌽 Агс	serve Replication/High ×	-	- □ ×
<b>ORCSERVE</b> ® Replica	ation & High Availability			
ログイン: Administrator ドメイン:			シナリオが定義され	ていません。シナ
クイックスタート シナリオ管理 フリックするとつナリオを管理できます フリックするとレポート センターが開き サポートおよびコミュニティアクセス	サマリ           シナリオ総数         0           実行中のシナリオ         0           エラーによりシナリオが停止しました         0           シナリオはユーザによって停止されました         0           スイッチオーバーのためにシナリオが停止         0           しました         HM           HM のシナリオの準備完了         0           アシュアードリカバリのテストを実行中         0	シナリオのステータス 表示するデ	ータがありません	<b>ハイアペイラ</b> HA シナリオは も
ビデオ  Arcserve サポート  3 ユーザコミュニティディスカッション	<ul> <li>一時停止されたレブリカ 0</li> <li>シナリオが未知の状態 0</li> <li>実行中のシナリオのエラー 0</li> <li>実行中のシナリオの警告 0</li> <li>シナリオ</li> </ul>			
マレーション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・				
ホスト           名前         エンバンを実行中			_	>

Step4: [実行]をクリックし、Arcserve RHA マネージャをダウンロードします。



#### ダウンロードしています。





Step6:

#### o6: Arcserve RHA マネージャが開きます。メニューの [ヘルプ] - [登録] をクリックしま す。

A	1								
Arcserve KHA VA			-				-	· D	^
; 57597 編集 1/ : (* Cha (昭) (本) ト	OF 表示 リアワト フール ト (12:0%) max (12:001)	n	7						
	P 12 21 24 32 32 1		コノテノフ(g) 第二の日常わりの						
2000 0000 C2	- x////s//ci gg		現在のドビジンの		× 🖲 プロパティ				<b> x</b>
ゆうナリオ		- 🗹	www.arcserve.com/support 0/1/7/7	287					~
			サポートについて(Y)			プロパティ	ſ	ŧ	
			サポート登録(E)						
			テクニカル サポートへのアクセス(S)						
			トレーニング(B)						
			12時11年15日/115						
			童鏢( <u>R</u> )						
			バージョン 情報(A)						
		_							
					🛅 ルート ディレクトリ	🖲 プロパティ			
1101									
>hセージ ID	シーケンズ 重大度		ホスト/シナリオ	時間		1/01			
イベント シナリオの検知	正結果   適用されたプロパティ	支更结	<del>.</del>						

**Step7**: [Arcserve RHA Replication/High Availability の登録] ダイアログが表示されるので、 [現在のキー] 欄にライセンスキーを入力し、[適用]をクリックします。



※集約ライセンスキーに表示される値は、入力したライセンスキーとは異なります。

以上で、マネージャのインストールとライセンスの登録は完了です。

#### 5. Linux 環境への RHA エンジンインストールの事前準備

5-1 インストール時の注意点

ログイン ユーザ

インストール前の準備やインストールは、"root"ユーザとしてログインし実行します。

ロケール設定

RHA Linux 用エンジンが日本語環境としてサポートするロケールは Unicode BMP (UTF-8) です。インストール中の文字を日本語表示するには事前にシステム ロケールを UTF-8 に設定しインストーラを実行します。システム ロケールが UTF-8 に設定されていない環境でも、日本語文字セットがインストール済であれば日本語環境としてインストールできます。 この場合は SSH 対応の端末(TeraTerm など)からリモートログオンした環境のロケールを UTF-8 に設定します。

ネットワーク設定

エンジンのインストール前にネットワークの設定(IP アドレス、名前解決)ができていること を確認してください。 5-2 エンジンのインストーラ ファイルの入手方法と準備

Linux 用エンジンのインストーラ ファイルが含まれる tar ファイル("**arcserverha.tar**")を、メデ ィアキット("Arcserve Replication and High Availability 18.0"メディア)または Arcserve RHA 18.0 インストールイメージ(ISO ファイル)からインストール先 Linux マシンにコピーします。

- ※ メディアキットの場合、インストール用の一時領域として使用されるコピー先フォルダは、 300MB 以上の空き容量がある領域を使用してください。
- ※ インストールイメージ(ISO ファイル)をダウンロードする場合、ダウンロードおよびインスト ール用の一時領域として使用されるフォルダはインストール イメージ分と合わせ 1.5GB 以上 の空き容量がある領域を使用してください。

次に、コピーされた tar ファイル("arcserverha.tar")内からインストール先の OS に対応したインストーラ ファイルを任意のローカルフォルダに解凍します。

参考: Red Hat Enterprise Linux/CentOS 8.x 用インストーラ ファイルの例 インストーラ ファイル名: "arcserverha-18.3-0.7033.rhel8.tgz"

解凍先のフォルダ("arcserverha")内にセットアップ ファイル("install.sh")があることを確認し てください。 5-3 Linux 用エンジンに必要なソフトウェアについて

インストール対象の Linux マシンがインターネットに接続されているか、ローカル環境で yum(dnf)コマンドのレポジトリが利用できる場合は、エンジンのインストール中に必要なソフト ウェアも一緒にインストールされます。

yum(dnf)コマンドのレポジトリが利用できない環境では、あらかじめ Linux 用エンジンに必要な ソフトウェアを手動でインストールしてください。(手順は次項"5-4"を参照)

- ※ ソフトウェアをインストールするには、RHEL7.x / CentOS7.x と同じ yum コマンドとオプション を使用できます。
- 5-4 エンジンに必要なソフトウェアの手動インストール ("5-3"のレポジトリが利用できない場合)

インストーラ ファイルの解凍先フォルダ("arcserverha")で以下のコマンドを実行し、エンジン に必要なソフトウェアのリストを表示します。

<エンジンに必要なパッケージの確認コマンド>

実行するコマンド:rpm -qpR <rha-rpm-file>

実行例: "rpm -qpR arcserverha-18.3-0.7033.rhel8.x86\_64.rpm"

必要なパッケージが対象の Linux マシンにインストール済みかは yum コマンドなどを使用して 確認します。

<対象 Linux マシンのインストール状況を確認するコマンド> 実行するコマンド: yum list installed | grep **<パッケージ名>** 実行例: "yum list installed | grep rpmlib"

足りないソフトウェアを OS メディアなどから個別にインストールしてください。

<OS メディアからソフトウェアをインストールするコマンド> 実行するコマンド: yum --disablerepo=¥\* --enablerepo=c7-media install **<パッケージ名>** 実行例: "yum --disablerepo=¥\* --enablerepo=c7-media install rpmlib"

※ 上記は CentOS のインストールメディアを/media/cdrom にマウントした場合の実行例です。
 他のフォルダにマウントする場合は、/etc/yum.repo.d/CentOS-Stream-Media.repo の
 baseurl=パラメータにメディアのマウントパスを追加してから実行します

- 6. Linux サーバへのエンジンのインストール
  - Arcserve Replication / High Availability のエンジンをインストールする Linux マシン Step1: に、root ユーザでログオンし、インストーラ ファイルの解凍先[arcserverha] フォル ダにある [install.sh] を実行します。

#### 注意 : エンジンのインストールはすべてのマスタおよび仮想アプライアンスで それぞれ行います。



ライセンス許諾メッセージが表示されるので"スペースキー"を押して読み進め、使用条件 Step2: を承諾する場合は"YES"を入力するか、そのまま[Enter]キーを押し、インストール処理 を続行します。

E	root@CentOS82:/tmp/RHA/arcserverha	×				
ファイル	-⁄(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)					
J.	Failure by either party to enforce any particular term or condition of this License Agreement shall not be construed as a waiver of any of its rights under it.					
К.	The illegality, invalidity or unenforceability of any part of this Agreement will not affect the legality, validity or enforceability of the remainder.					
L.	This Agreement, the Schedule and the documents and policies referenced herein constitute the entire agreement between the parties relating to the licensing and use of the Products and supersede any other oral or written communications, agreements or representations with respect to the Products, except for any oral or written communications, agreements or representations made fraudulently.					
17. COU	NTRY SPECIFIC TERMS.					
In the Service https:/ Product	in the event Licensee acquires a license for the Product and/or Cloud Gervices outside of the United States, the provisions set forth at https://www.arcserve.com/Country-Terms will apply to the use of the Product and/or Cloud Services.					
Do you	accept Arcserve End User License Agreement?[YES]					

インストールするエンジンのバージョンを確認するメッセージが表示されるので"YES"を Step3: 入力するか、そのまま[Enter]キーを押します。





- ※ RHEL7.x / CentOS7.x にインストールする場合は、仮想アプライアンス用パッケージの インストールを確認するメッセージが表示されます。
  - > マスタの場合は"NO"を入力するか、そのまま[Enter]キーを押してください。
  - > 仮想アプライアンスの場合は"YES"を入力し、[Enter]キーを押してください。



٤ ١	oot@CentOS82:/tmp/RHA/arcser	verha ×
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 材	索(S) 端末(T) ヘルプ(H)	
Running transaction Preparing : Installing : arcse Running scriptlet: arcse semodule -s targeted -i semodule -s mls -i /opt/.	verha-18.3-0.7033.x86_64 verha-18.3-0.7033.x86_64 opt/Arcserve/RHA/bin/sel: rcserve/RHA/bin/selinux/r	1/1 1/1 1/1 inux/targeted/arcserverha.pp mls/arcserverha.pp
Verifying : arcse Installed products updated	verha-18.3-0.7033.x86_64	1/1
Installed: arcserverha-18.3-0.7033.	86_64	
Complete! Installation completed	onfiguring Arcserve RHA •	<license quiet=""></license>
IMPORTANT! To allow non-root use Arcserve RHA requires and make sure that "c Provide positive answ	s to manage replication s "caarha" group created on arha" works for the supp r to proceed.	scenarios n your machine, lementary group.
Create "caarha" group?[YES Enable Oracle support[NO]		

**Step5:** <br/>
言語の選択画面で、使用する言語の番号(日本語は"7")を入力して、[Enter]キーを押<br/>
します。

E root@CentOS82:/tmp/RHA/arcserverha	×
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)	
IMPORTANT! To allow non-root users to manage replication scenarios Arcserve RHA requires "caarha" group created on your machine, and make sure that "caarha" works for the supplementary group. Provide positive answer to proceed.	
Create "caarha" group?[YES]	
Arcserve RHA was successfully installed. Please select language to be used: 1 - Chinese (Simplified) 2 - Chinese (Traditional) 3 - English (United States) 4 - French (France) 5 - German (Germany) 6 - Italian (Italy) 7 - Japanese 8 - Portuguese (Prazil)	
Portuguese (Brazit) 9 <u>Spanish (Traditional Sort)</u> Please select your language [7]	

**Step7**: エンジンが使用するポート番号"25000"を自動で開放する場合は、そのまま[Enter]キーを押します。



Step8: 自動で最新のアップデートに更新する場合は"YES"、更新しない場合はそのまま[Enter] キーを押します。

► root@CentOS82:/tmp/l	RHA/arcserverha ×
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘル	プ(H)
To allow non-root users to manage repl. Arcserve RHA requires "caarha" group c and make sure that "caarha" works for Provide positive answer to proceed.	ication scenarios reated on your machine, the supplementary group.
Create "caarha" group?[YES] Enable Oracle support[NO]	
Arcserve RHA was successfully installed. Please select language to be used: 1 - Chinese (Simplified) 2 - Chinese (Traditional) 3 - English (United States) 4 - French (France) 5 - German (Germany) 6 - Italian (Italy) 7 - Japanese 8 - Portuguese (Brazil) 9 - Spanish (Traditional Sort) Please select your language [7] Open firewall port 25000? [YES]	
Check for latest product updates (recommend	ed)?[N0]

E				root@C	entOS82:/	tmp/RHA/arcserverha ×	
ファイ	イル(F)	編集(E)	表示(V)	検索(S)	端末(T)	ヘルプ(H)	
6 - I 7 - J 8 - P 9 - S Pleas Open Check Creat r/lib succe succe ws_ Lo Ac Main T Me CG	taliar apanes ortugu panish e sele firewa for l ed sym /syste ss ss rep.se aded: tive: PID: asks: mory: roup:	i (Italy ie iese (Br i (Tradi ict your all port atest p ilink /e md/syst ervice - loaded active 4812 (a 2 (limi 1.4M /system 4812 -4816 -4817	) azil) tional langua 25000? roduct tc/syst em/ws_r Arcser (/usr/l (runnin arcserve t: 1209 slice/ /bin/sh grep -c	Sort) ige [7] [YES] updates emd/sys ep.serv ve RHA .ib/syst ig) sinc rha) 16) ws_rep. n /opt/A n /opt/A n /opt/A n /opt/A	(recom tem/mul ice. replica emd/sys e Tue 2 service service crcserve accserve se 4	mended)?[NO] ti-user.target.wants/ws_rep.service →/us tion service tem/ws_rep.service; enabled; vendor pres≱ 020-11-24 14:20:52 JST; 16ms ago /RHA/bin/arcserverha start /RHA/bin/arcserverha start	
11月 lines	24 14: 1-12/	20:52 C 12 (END	ent0582	system	ıd[1]: S∙	tarted Arcserve RHA replication service.	

※ CentOS8.x/RHEL8.x の場合、上記画面から q キーを押すとプロンプトから抜けられます。

以上で、エンジンのインストールは完了です。マスタと仮想アプライアンス両方にエンジンがインストールされていることを確認してください。

#### <補足> Hyper-V 環境で仮想アプライアンスを利用する場合

仮想アプライアンスから Hyper-V ホストにアクセスできるようにするため、Hyper-V 上の仮想アプ ライアンスにエンジンをインストールした後に以下を実行して下さい。

1. Hyper-V ホスト上で、以下のコマンドを実行します。

winrm set winrm/config/service/auth @{Basic="true"}
winrm set winrm/config/service @{AllowUnencrypted="true"}

2. アプライアンス上で以下のコマンドを実行して、virsh がターゲットの Hyper-V ホストに接続 できることを確認します。

[root@ホスト名]# virsh -c hyperv://administrator@Hyper-V\_IP/?transport=http pool-list

以下の出力例は、設定の成功を示しています。

root@va:~	-		×
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)			
[root@va ~]# virsh -c hyperv://administrator@192.168.10.219/?transport=http po administrator の 192.168.10.219 のユーザー名を入力してください: "パスワード"を入力 hypervSetupV2 名前 状態 自動起動	ol J	list	
E:\vm\ 動作中 はい (yes)			
[root@va ~]#			

※ Virsh コマンドの仕様により、上記[ユーザ名]には Administrator のパスワードを入力して ください。 7. フルシステム シナリオの作成と実行

Step1: 概要ページの [シナリオ管理] をクリックし、Arcserve RHA マネージャを起動します。



**Step2**: RHA マネージャの [シナリオ作成] ボタンまたは、メニューの [シナリオ] - [新規] を クリックします。

<b>7 W</b>
<b>n N</b>
4 X
~
<b>4 X</b>
>

**Step3**: シナリオ作成ウィザードが現れます。[新規シナリオの作成] が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

🔕 シナリオ作成ウィザード		-		×
	新規シナリオ ウィザードへようこそ			
▶ ようこそ 製品タイプ	このウィザードを使用すると、最初から、または定義済みのテンプレートを使用した新規シナリオの作成が容易になります。 プレートの作成にも使用できます。シナリオの作成が終了したら、作成したシナリオを実行できます。	これは、	新規テン	^
シナリオのセットアップ シナリオの検証	ウィザードを終了し、任意の段階から手動で設定を継続する場合は、「終了」ボタンをクリックしてください。			~
シナリオの実行	<ul> <li>新規シナリオの作成</li> <li>新規テンプレートの作成</li> <li>テンプレートからの新規シナリオの作成</li> <li>シナリオ グループの割り当てく既存グループを選択するか、または新しいグループを選択するか、または新しいグループを選択するか、または新しいグループを選択するか、または新しいグループを選択するか、または新しいグループを認定するか。</li> </ul>			
	戻る(B) 次へ(N) 終了(F)	キャンセ	2.11.(C)	

[サーバ タイプの選択] で [フル システム] を、[製品タイプの選択]で [ハイ アベイラ **Step4**: ビリティ シナリオ(HA)] を選択し、[次へ] をクリックします。

- ※ [ハイ アベイラビリティ シナリオ(HA)] は Arcserve High Availability 18.0 のラ イセンスを適用している場合のみ選択できます。
  - ※ [アシュアード リカバリ(AR)を使用した整合性テスト]は必須ではありませんが、運 用中に無停止テストが可能になるため、選択することをお勧めします。

😳 シナリオ作成ウィザード	-		×
	サーバおよび製品タイプの選択		
🖌 ようこそ	   以下で、ライセンスされたサーバ タイプ、製品タイプ、および必要なタスクを選択してください。希望するオプションがリスト表示さ	れない場合	~
▶ 製品タイプ	は、以下のいずれかを実行します:		
。 シナリオのヤットアップ	適切なライセンス キーがある場合は、[キャンセル]をクリックしてウィザードを終了し、[ヘルプ] − [登録]をクリックしてください。		
シナリオの検証	1週切なライセン人キーかなく、取得を希望する場合は、弊社販売代理店までお問い合わせくたさい。		~
	サーバ タイプの選択(S)		
シナリオの実行	□ ファイル サーバ		
	Microsoft Exchange Server		
	Minimosoft Sul Server		
	Microsoft ID Server		
	Arcserve RHA/FU =// // =//A		
	Microsoft SharePoint Server		
	制		
	〇 コンテンツ配布シナリオ (GD)		
	☑ アシュアードリカバリ (AR)を使用した整合性テスト		
	統合オプション(1)		-
	● なし		
	O Arcserve Backup		
			-
	戻る(B) 次へ(N) 終了(F) キャ	ンセル <mark>(C)</mark>	ii

Arcserve Replication / High Availability 18.0



レプリカ設定は [サーバ タイプ] を選択して [仮想プラットフォーム ホスト名/IP] および [アプライアンス ホスト名/IP] にホスト名または IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします

※ 入力ボックスの横の […] ボタンを利用してホスト ディスカバリを行うには、ドメイン コントローラ サーバに接続されている必要があります。



Step5 で [ホスト上の Arcserve RHA エンジンを検証] にチェックが入っていると、マ Step6: スタおよび仮想アプライアンスでエンジンの検証を行います。エンジンが問題なくイン ストールされていることを確認し、[次へ] をクリックします。

> ※ エンジンの検証はスキップすることができます。その場合は、Step5 で[ホスト上の Arcserve RHA エンジンを検証] チェック ボックスのチェックを外してシナリオ作 成を進めてください。

🕼 シナリオ作成ウィザード						-		×
<ul> <li>✓ ようこそ</li> <li>✓ 製品タイプ</li> <li>✓ シナリオのセットアップ</li> <li>✓ キフト</li> </ul>	システムは、Arcserve RHA エンジ ホストにエンジンをインストールする( Linux エンジンへのリモート インスト	ンが選択されたホストにイ こは、そのチェック ボックスす ールはサポートされていま	エンジン検証 ンストールされてい 避択して、「インス せん。	るかどうかを自動的に; トール]をクリックします	チェックしま 。	₫.		
★ 木スト 下ンジン検証 ポリューム設定 リソース ブール選択 ストレージ選択 シナリオのプロパティ ホスト プロパティ スイッチオーパー プロパティ シナリオの検証 シナリオの実行	ホスト上でのインストール ■ ミ centos 75 ■ ミ centos 75va	サーバのステータス インストール済み インストール済み	現行パージョン 18.0.0.5503 18.0.0.5503	ログオン アンウト root root	開始 (はい (はい	64 ビット OS (ない) (ない)	ポート 25000 25000	
	総数: 2 違択: 情報: ホスト: centos75 - ステ	済み: 2 ータス: インストール済み	成功: 2 (パージョン 1800. る(B)	Iう~: 0 5503) 汰へ(N)	終了佢	IJフレ 	ッシュ(F) ログの表示 セル( <u>C</u> )	

※ OS へのログオン権限が無い場合、以下のような認証ダイアログが表示されます。それぞれのエンジンの認証情報を入力し [OK] をクリックしてください。

ユーザ認証情報 ×
ホスト "centos75" に対するユーザ アカウント:
ユーザ名: root
パスワード: *********
Ганарананананананананананананананананана
ホスト ″centos75va″ に対するユーザ アカウント:
ユーザ名: root
パスワード: **********
Гу/J.
Windows ユーザ: ドメインまたはホスト名をドメインまた はユーザ フィールドに入力します。
OK(0) キャンセル(0)

複製対象のパーティションおよびボリュームが選択されていることを確認し、[次へ]をク Step7: リックします。

×	ボリューム名を展開す	るとフォルダ単位で除外を指定できます。
---	------------	---------------------

😨 シナリオ作成ウイザード		– 🗆 X
❤ ようこそ ❤ 製品タイプ ❤ シナリオのセットアップ	<b>ボリューム設立</b> 保護する物理マシンの 1 つまたは複数のポリュームを選択してください。詳細情 ダ内のすべてのサブ フォルダとファイルも除外されます。	€ 着報を表示するには、ポリュームをクリックします。除外されたフォル
<ul> <li>◆ ホスト</li> <li>◆ エンジン検証</li> <li>▶ ポリューム設定</li> <li>リソース ブール選択</li> <li>ストレージ選択</li> <li>シナリオのプロパティ</li> <li>ホスト プロパティ</li> <li>スイッチオーバー プロパティ</li> <li>シナリオの検証</li> <li>シナリオの実行</li> </ul>	Ræjdsπ/J1-Δ         Gentos 75         Gentos σentos -root	プロパティ         値           ファイル シス・・・ xfs         マウント ポイント / boot           ブート ポリューム はい         レVM ポリューム はい           LVM ポリューム ハいえ         合計サイズ           合計サイズ         1024 MB           空きサイズ         863 MB
		ポリューム設定 ファイル
	戻る(B)	次へ(N) 終了(E) キャンセル(C) ::

**Step8**: 代替 VM 用の仮想ディスクを格納するストレージを確認、あるいは指定して[次へ]をクリックします。

🥥 シナリオ作成ウィザード					-		×
<ul> <li>✓ ようこそ</li> <li>✓ 製品タイプ</li> <li>✓ シナリオのセットアップ</li> <li>✓ ホスト</li> </ul>	仮想マシンを格納する	場所を選択します。	2FD-5	Ĵ <b>選択</b>			
<ul> <li>◆ ホスト</li> <li>◆ エンジン検証</li> <li>◆ ボリューム設定</li> <li>◆ リソース ブール選択</li> <li>▶ ストレージ選択</li> <li>シオリオのプロパティ</li> <li>ホスト ブロパティ</li> <li>ホスト ブロパティ</li> <li>スイッチオーバー ブロパティ</li> <li>シナリオの検証</li> <li>シナリオの実行</li> </ul>	名前 [Datastore] < ディスク プロビジョニン ! オンデマンド	タイプ VMFS ング で書り当ておよびコミットされた領地	<b>皮 (動</b> 的ディスク?	容量 1425 GiB 全使用)	空き容量 73.3 GiB		>
			戻る(B)	次へ(№)	終了(E) キ	・ヤンセル(C)	

※ アプライアンスを実行する仮想ホストへのログオン権限が無い場合、以下のような認証ダイ アログが表示されます。認証情報を入力し [OK] をクリックしてください。

ユーザ認証情報	×
ホスト ″esx65″ (こ対す	オるユーザ アカウント:
ユーザ名:	root
パスワード:	****
ドメイン:	
Windows ユーザ: ドメイ はユーザ フィールドに入	(ンまたはホスト名をドメインまた 、力します。 OK(O) キャンセル(C)

[シナリオのプロパティ] ではこのシナリオ全般の設定を行えます。各プロパティの説明 がダイアログ ボックスの下段に表示されます。必要な設定を行ったら[次へ] をクリック します。各プロパティの詳細は「Arcserve Replication/High Availability 18.0 管理者 ガイド」の「第 8 章: プロパティの設定」をご覧ください。

Step9: 以下の例では [レプリケーション] - [再起動後に実行] を [オフ] に変更しています。この設定により、マスタ サーバ上で不意の再起動やエラーが発生した際に同期が自動的に行われるのを避け、本番環境のパフォーマンス低下を防ぐことができます。ただし、同期はマスタと仮想アプライアンスのデータを一致させるための重要な処理です。同期をするべきエラーの後などは、マスタ サーバのアクセスが少ない時間帯を選び、必ず手動で同期を行ってください。

😨 シナリオ作成ウィザード	- 0	×
✔ ようこそ ✔ 製品タイプ ✔ シナリオのセットアップ	<b>シナリオのプロパティ</b> シナリオのプロパティは、ここで設定します。これらのプロパティは、ウィザードの手順終了後に設定することもできます。 推奨されているデフォルド値はすでにリストド知にあります。値を変更する前に、「Arcserve RHA 管理者ガイド」を参照してください。	
<ul> <li>✓ ホスト</li> <li>✓ エンジン検証</li> <li>✓ ボリューム設定</li> <li>✓ リソース ブール選択</li> <li>✓ ストレージ選択</li> <li>▶ シナリオのプロパティ</li> </ul>	プロパティ     値       B     全般       C     レプリケーション       B     大ラハ、       B     再設例後に実行       オフ     日	
ホスト プロパティ スイッチオーバー プロパティ <b>シナリオの検証</b> シナリオの実行	・     ・     ブロックレベル同期       ・     ・     ブロックレベル同期       ・     ・     オフ       ・     ・     ・       ・     ・	
	マスタが再起動された場合、Arcserve RHA によって、再起動後、自動的にマスタとレプリカが再同期されます。	
	戻る(B) 次へ(N) 終了(F) キャンセル(C)	.:

## Step10: 代替 VM (画面では"レプリカ"と表示)で使用するネットワーク アダプタをプルダウンから選択し、[マスタ アダプタ情報の適用]を確認して [OK] をクリックします。

マスタ ネット ens192	フーク アダプタ VM Network	レプリカ ネットワーク アダプタ	
VIEDEO	1±w/%/%	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
iスタ アダプタ情報 ens 192 HCP 有効 Wiス P アドレス 321681078 デートウェイ 9216810184	レクリカ アダブタ設定方法 ターゲット アダブタを設定する方式を選択して マスタ上のルーティング テーブルをカスタマイズし ルート テーブルを確認してください。 <ul> <li>マスタ アダブタ情報の適用</li> <li>アダブタ情報のの適用</li> <li>アダブタ情報のの力スタマイズ</li> <li>P 設定 DNS&amp;WINS</li> <li>P 設定 DNS&amp;WINS</li> <li>P アドレス サ</li> <li>192.168.10.79 25</li> <li>ゲートウェイ</li> <li>ゲートウェイ</li> </ul>	(ださい。 、 別のサブネットを使用した場合は、スイッ ひ ジネットマスク 55.255.255.0	チオーパー VM の 注意力加 育明余 追力加

※ 代替 VM の IP アドレス等をマスタと異なる情報にカスタマイズする場合は、[アダプタ情報 のカスタマイズ]を選択して IP アドレス等を設定してください。

🚣 ハイ アベイラビリティ ネットワーク アダプタ マッピンク			-		×
マスタ アダプタとレプリカ アダプタの間のネットワーク マ	ッピングを設定してください。				
マスタ ネットワーク アダプタ		レプリカ ネットワーク アダプタ			
▶ ens192 virbr0		VM Network 〈空のアダプタ〉			~
マスタ アダプタ情報 ens 192	レプリカ アダプタ設定方法 ターゲット アダプタを設定する; マスタ上のルーティング テープ)	, 方式を選択してください。 とをカスタマイズし、別のサブネットを使用した場合は、ス・	イッチオー		10
DHCP 有効 いいえ IP アドレス 1921681079 サブネット マスク 2552552550 ゲートウェイ 19216810184	ルート テーノルを確認していた マスタ アダプタ情報の通用 ・ アダプタ情報のカスタマイズ IP 設定 DNS&WINS -IP IP 192.168.10.79 IP フドレス 192.168.10.79	マスク 255.255.255.0 サブネットマスク 255.255.0		追加	
	ゲートウェイ ゲートウェイ グートウェイ 192.168.10.184	· · · ·		追加 削除	
		OK(0)		キャンセ	il(C)

[マスタとレプリカのプロパティ]ではスプール ディレクトリなど各サーバに関する設 Step11: 定や、代替 VM の CPU などのリソース変更が行えます。

必要な設定を行ったら [次へ] をクリックします。 各プロパティの詳細は「Arcserve Replication/High Availability 18.0 管理者 ガイ ド」の「第 8 章: プロパティの設定」 - 「マスタとレプリカのプロパティの設定」 をご覧ください。

🔕 シナリオ作成ウィザード				_		$\times$
<ul> <li>✓ ようこそ</li> <li>✓ 製品タイプ</li> <li>✓ シナリオのセットアップ</li> <li>・</li> </ul>	マスタとレブリカのブロパティはここで設定されま 推奨されているデフォルト値はすでにリスト内に	マスタとレプ! す。これらのプロパティ(3 あります。値を変更する	<b>リカのブロパティ</b> ま、ウィザードの手順終了後に設定することも 前に、「Arcserve RHA 管理者ガイド」をき	5できます。 参照してください	•	
<ul> <li>ホペト</li> <li>エンジン検証</li> <li>ボリューム設定</li> <li>リソース フール選択</li> <li>ストレージ選択</li> <li>シナリオのフロパティ</li> <li>ホスト プロパティ</li> <li>スペッチオーパー プロパティ</li> <li>シナリオの検証</li> <li>シナリオの実行</li> </ul>	マスタブロパティ □ 10 ホスト接続 □ 10 レプリケーション □ 10 スプール □ 10 イベント通知 □ 10 レポート	<u>(値</u>	レプリカプロパティ 日 し ホスト接続 日 し レプリケーション 日 し グリケーション 日 し 反想マシン 日 し スプール 日 し カパリ 日 し オリューム スナップショット管理: 日 し スケジュール タスク 日 し イベント通知 日 し レポート	Ĵ	<u>(</u> 位	
		戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> ) 終了(E)	キャン	セル(C)	

#### [スイッチオーバー プロパティ] では DNS リダイレクトの設定や、"Is Alive"の設定変 **Step12** 更が行えます。 必要な設定を行ったら [次へ] をクリックします。

🧔 シナリオ作成ウィザード		- 🗆 X
	スイッチオーバー プロパティ	
✔ ようこそ ✔ 製品タイプ ✔ シナリオのセットアップ	スイッチオーバー プロパティはこの手順で設定されます。推奨されるデフォルト値が以下にリスト 理者ガイド」を参照してください。	されています。現在の設定を変更する前に、「管
<ul> <li>◆ ホスト</li> <li>◆ エンジン検証</li> <li>◆ ボリューム設定</li> <li>◆ リソース ブール選択</li> <li>◆ ストレージ選択</li> <li>◆ シナリオのプロパティ</li> <li>◆ ホスト プロパティ</li> <li>◆ ホスト プロパティ</li> <li>▶ スイッチオーパー プロパティ</li> <li>&gt; オイッチオーパー プロパティ</li> <li>&gt; シナリオの検証</li> <li>&gt;&gt;ナリオの実行</li> </ul>	プロパティ ■ えイッチオーパー ■ ホスト ■ ネットワーク トラフィック リダイレクション ■ 1s Alive ■ DB 管理 ■ 武功時のアクション	ſĔ
	「 戻る(B) 次へ(N)	終了(E) キャンセル(C)

スイッチオーバーを自動で行うか、手動で行うかを選択し、[次へ] をクリックします。 **Step13** 以下の例では、[自動スイッチオーバー]を選択しています。

🧔 シナリオ作成ウィザード	×
<ul> <li>シナリオ作成ウィザード</li> <li>ようこそ</li> <li>製品タイプ</li> <li>シナリオのセットアップ</li> <li>ホスト</li> <li>エンジン検証</li> <li>ボリューム設定</li> <li>リソース ブール選択</li> <li>ストレージ選択</li> <li>ストレージ選択</li> <li>シナリオのプロパティ</li> <li>ホスト プロパティ</li> <li>スイッチオーバー プロパティ</li> <li>シナリオの検証</li> <li>シナリオの実行</li> </ul>	
	○ 手動スイッチオーバー(M)

#### シナリオの検証が行われます。エラーや警告のメッセージが表示されていないことを確 Step14 認し、[次へ]をクリックしてください。 エラーや警告が出た場合は、問題を解決した後再試行してください。

🕼 シナリオ作成ウイザード	- 0	×
<ul> <li>シナリオ作成ウィザード</li> <li>ようこそ</li> <li>製品タイプ</li> <li>シナリオのセットアップ</li> <li>オスト</li> <li>エンジン検証</li> <li>ボリューム設定</li> <li>リソース ブール選択</li> <li>ストレージ選択</li> <li>シナリオのプロパティ</li> <li>オスト ブロパティ</li> <li>スイッチオーバープロパティ</li> </ul>		× •
<ul> <li>◇ スイッチオーバー プロパティ</li> <li>◇ シナリオの検証</li> <li>&gt;&gt;ナリオの実行</li> </ul>		
	戻る(B) 次へ(N) 終了(F) キャンセル(C)	

[シナリオの実行] ではシナリオの概要が表示されるので、内容をご確認ください。問題 **Step15** がなければ[終了] をクリックします。

※ [今すぐ実行] をクリックするとシナリオが開始し同期が始まりますのでご注意くだ さい。

🔕 シナリオ作成ウィザード					-		×
<ul> <li>✓ ようこそ</li> <li>✓ 製品タイプ</li> <li>✓ シナリオのセットアップ</li> <li>✓ ホスト</li> <li>✓ エンジン検証</li> <li>✓ ボリューム設定</li> </ul>	このシナリオは設定済みで、実行準備が完了し ると、最初のデータ同期が自動的に開始されま	<b>シナリオヨ</b> ています。 [今すぐ実行]を す。 シナリオを後で実行す?	<b>見行</b> カリックすると、シナリオ・ る場合は、[終了]ボタ]	を開始します。[今すく ンをクリックします。	♡実行]ボ	タンをクリ	ックす
	シナリオ 'FullSystem' は	実行準備完了					^
✓ リソース プール選択	製品タイプ		ハイ アベイラビ	リティ シナリオ (	HA)		]
<ul> <li>▼ シナリオのプロパティ</li> </ul>	サーバ タイプ		フルシステム				
✓ ホスト プロパティ	アシュアード リカバリを使用した整合	させテスト	オン				
✔ シナリオの検証	レプリケーション モード		オンライン				
▶ シナリオの実行	र्रत्र						
	名前	centos75					
	スプール サイズ (MB)	制限なし					
	スプール パス	[インストール デ	ィレクトリ] /tmp/s	pool			
	レプリカ						
	名前	centos75va					~
		戻る( <u>B</u> )	今すぐ実行( <u>R</u> )	終了(E)	キャン	セル <mark>(C)</mark>	

マネージャのシナリオ ビューで作成したシナリオを選択し、ツールバーの [実行] ボタ Step16 ン (緑色三角ボタン)、またはメニューの [シナリオ] - [実行] をクリックします。

Arcserve RHA マネー	ジャ - @rha18-	-control:8088				-	0	×
いナリオ 福生 🍊	ノト 表示 ク:	うウド ツール ヘルプ						
* 🛏 🗐 🚺 📐	03 B- 1	: Right for the second	e mil 📾 🖂 a.c. 🖎					
	7+475/244		2 一回 (20) (20) = = *(2) * ッフトーラ モニタ (第) ホフト メンテナンフ モニタ					
117 121-	×/////2/1			• ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				- 1
Botut				シナリオのプロパティ				
2774 		100 240	a H. et			14		
-TE UC 1		4A2: 200			70/174	10	_	
FullSystem		₩₩ НА/АК	JN 9XTL 43313					
雨人下 回 ■ contos 75	変更消的	) 通信アーク 通信/7	71ル 支信テータ 支信ノア1ル スノール形式					
Centos 75								
Groentos 73				回望レルート処理				
				🗀 ルート ディレクトリ 🗎 プロパティ 👫 。	いん アベイラドリティ プロパティ			
a.								
	1. b. 2.0		421.2.484	1+99	t an 1			4
24910	シーケン人*	里八度 3 4840	ホスト/ソナリオ	明白	1/UF	designment of PTP		
0105	4344	<u>게</u> III ¥II 2 05 75	Bruioystem	2010/00/14 0.11:03	2 J 9 9 manocontrol (#50) 2 ~ 9 RHA18CONTROL 4a	ministrator) (VI#1+		
100	4344	1 里安	E 10 store	0 2013/06/14 5:59:11	Centos / Sva L 19 20 CUL	1-1-1-1-0/87		
1122	+343	21 IFFE	ego di System	2013/00/14 5:53:10	シードリオ (maile-control パロの) ーク REATS-CONTROL#a	ann nou dcull j Witt 14 Aministent of 10/977		
0122	+342	3 IR#0		2010/00/14 4:51:10	2 5 9 3 [maile-control // 90/2 = 9 RHA18-CONTHOL#8 78 (= 1998) = 1 = 1	ann nau au d'i Ull #17		
00165	4341	🤰 重要	E Full System	U 19/08/14 4:51:09	centos/5 に接続しました			

Step17 シナリオ実行の確認画面が表示されるので、 [実行] をクリックします。

🔕 検証結果	_		×
	(P)	ا ومله (ما ياد	
	(IV	77/1/	NO)

[実行] ダイアログで同期方法が表示されますので、内容を確認し [OK] をクリックし、 同期を実行します。(デフォルトは[ブロック レベル同期]です)

 ※同期はマスタ サーバの静止点とアプライアンスのデータを揃える、レプリケーション
 Step18 を開始するために必要な処理です。同期の実行中はマスタ サーバのパフォーマンスに 影響が出る可能性がありますので、同期は極力業務時間やバッチ処理などを避けて行ってください。なお、同期中にマスタ サーバのレプリケーション対象領域で行われた データの変更は、スプールに蓄積されて同期終了後にアプライアンスに反映されます。

1919年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	?	×
Arcserve RHAは同期プロセスの完了後にレプリケーションを開始	します。	
同期方法		
○ ファイル レベル同期		
多数の小サイズファイルに最適		
◉ ブロック レベル同期		
大容量ファイルに最適		
○ ボリューム レベル同期		
ボリューム全体のレプリケーションに最適		
🔄 同一サイズ/タイムスタンプのファイルを無視(S)		
OK(O)	キャンセ	/ <b>/(C)</b>

Step19 同期が完了するとレプリケーションが開始します。マネージャ画面上でシナリオの状態が「実行中」になっていることを確認してください。

シナリオ 編集 () () () () () () () () () () () () () (	(スキーシャ・@mai イベント 表示 ク □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ スナップショッ リオ	18-control:8088 15ウド ツール ヘル 20 20 10 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	ブ 副 回 15 後。 イソストーラモニタ へいストメソラナ ・ 9 2 ・ 9 1	ンスモニタ 。 【 Tr. KGHYAER シナリナのKGHYAER		× • • •
⊨ FullSyst #2 #2 Centos Centos	em 実行 5 24.48 Ki ps75va 2226 Ki	r中 HA/AR 第117 - 送信ファ B 3.77 GB 111 B	フル システム オンライン           1         受信データ         受信アテイ         スプール           816         -         -         0.00 /ドイ           8.77         GB         111816         0.00 /ドイ	<u>アクティブ</u> centos75	<u>スタンパイ</u> centos75va	
				아( (Jブー山の書)) 303 バイト 変更 済み; 24.48 KB	Is Alive レプリケーション 変更派み: 22.26 KB	
(AC)+				🗋 ルート ティレクトリ 📵 プロパティ 🤮 ハイ アペイ	(ラビリティ プロパティ <u>)11,5 55311歳88</u> 」	÷ † )
(ベント メッセージ ID	<u>9-502</u>	▽ 重大度	ホストルナリオ	_ (コルート ディレクトリ 📵 プロパティ 🤮 ハイ アベイ 時間	(ラヴティブロパティ )] <u>」。 統計(情報)</u>   イベント	- 4 x
イベント メッセージ ID SR00401 SR00202	シーケンス 4372 4370	● 重大度 近 重要 金 重要	ホスト/ジナリオ ■ certos75va ■ certos75va		(5辺5ィブロバティ <u>))。</u> 読計情報 イベル 1- Nive <b>5.1200再間</b> 同期後3-300かま用けまでてい.700ヶ」になりました	÷
<u>パント</u> メッセージ ID SR00401 SR00202 IM00405	シーケンス 4372 4370 4389	▲ 重大度 <u>近</u> 重要 <u>近</u> 重要 <u>3</u> 4 桂組	ホスト/シナリオ ■ certos 75va ■ certos 75va = Certos F0va	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(ラビ)ティ プロパティ <u>10.</u> 統計権限 イベント <b>Is Nive チェックの再間 同期処理やの変更(はオペレアリケートされました</b> 2019/09/04 06:442(アレデリケート <b>されました</b>	- <del>1</del> )
(水ント メッセージ ID SR00401 SR00202 M00405 SR00120	シーケンス <sup>1</sup> 4372 4370 4369 4367	▼ 重大度 31 重要要 32 重重要 33 6 1 33 6 1 34 6 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35	ホストルシナリオ ■ certos Tova ■ certos Tova ■ Certos Tova ■ certos Tova	トート ディレクトリ し プロパティ 発 ハイ アベイ 時間 3019/08/14 6.46:51 3019/08/14 6.46:43 3019/08/14 6.46:43 3019/08/14 6.45:42 3019/08/14 6.45:42	(ラビ)ティ プロパティ ) A ペント Is Alve チェックの再間 同期処理中の変更はすべてレプリケートされました 2019/08/14/06/54/21 (FR5だれた) 同期 レポートを[レポート] ヘポストしています。 同期地理 体験 7 は11	<u> </u>
イベント メッセージ ID SR00401 SR00202 IM00405 SR00120 IS00119	シーケンス <sup>1</sup> 4372 4370 4369 <b>4367</b> 4366	重大度           重大度要報           重 重 噴 重 輪           重 噴 重 輪           重 噴 重           重 噴 重           重 噴 重           重 噴 重           重 噴 重           重 噴 重           重<	ホストルクナリオ ■ certos75ve ■ certos75vs ■ certos75vs ■ certos75vs ■ certos75vs	・・ト ディレクトリ し プロパティ 谿 ハイ アベイ     ・・ ・・・ ・・ ・ ・・ ・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・ ・・・・ ・・・・・・・・	(ラビ)ティ プロパティ し。 統計情報 イベント	- <del>-</del>
パント メッセニジ ID SR00401 SR00202 IM00405 SR00405 SR00402 IR00119 SR00402	<u>シーケンス</u> 、 4372 4370 4369 4367 4366 4365	室式或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或或	ホストシナリオ ■ certos 75va ■ certos 75va ■ certos 75va ■ certos 75va ■ certos 75va ■ certos 75va	・・ト ディレクトリ 、 し プロパティ    第1 パ アベイ ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・	(ラビ)ティ プロパティ し。 族と目後報 イベント	
イベント メッセージ ID SR00401 SR00202 IM00405 SR00120 R00119 SR00402 SR00401	シーケンス 4372 4372 4369 4367 4366 4365 4364	✓ 重大重要表指重情重要	ホストシナリオ Certos TSva Certos TSva Ful System Certos TSva Certos TSva Certos TSva Certos TSva	・・ト ディレクトリ      ・・ フロパティ      ジョルート ディレクトリ      ・・・ フロパティ      ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(ラビリティブロパティ) よ。 読む情報目 イベント E Aive チェックの再間 同期処理中の変更はオペてレブリケートされました 2019:00:14:04:54:27:17:85:21:12:61 同期処理が終了しました ルートディレラレリノば同時次はした E Aive チェック20一時得止 E Aive チェック20一時得止	

以上で、シナリオの作成と実行の手順は完了です。

#### 8. 無停止テスト(アシュアード リカバリ)の実行手順

無停止テストを実行すると、マスタサーバの稼動中に代替 VM を実行して複製データを確認できます。 実行手順については、以下をご覧ください。

**Step1** RHA マネージャの [レプリカ整合性テスト] ボタンまたは、メニューの [ツール] - [レ プリカ整合性テスト] をクリックします。



## Step2 代替 VM にログインして動作確認を行う場合は[手動テスト]にチェックを入れて、[OK] をクリックします。



RHA マネージャのイベントに[レプリカ "マシン名"は、手動整合性テストの準備が整 Step3 っています]と表示されたら、代替 VM にログインし動作確認を行ってください。 ※ 無停止テスト用に作成された代替 VM のネットワークはデフォルトで"無効"です。



※ 無停止テストで作成される代替 VM のネットワークをあらかじめ有効にする場合は、[レプリカ (ス タンバイ) プロパティ]を開き、[仮想マシン] - [仮想マシン設定] - [アシュアードリカバリ ネット ワーク アダプタ マッピング]の値をクリックして設定してください。

<u>ม</u> ว่อパティ	1 🚽	1			
レプリカ(スタンバイ) 'centos75va' プロパティ					
プロパティ	値	T			
⊡●ホスト接続					
⊞ 🖳 レプリケーション					
日間仮想マシン					
🗆 🔳 仮想プラットフォーム設定	ここをクリックして仮想プラットフォーム設定を編集します				
📕 仮想ブラットフォーム タイプ	ESXi サーバ				
🧰 仮想ブラットフォーム	esx65				
🔳 ポート	443				
■ SSL 接続	1	アシュアードリカバリネットワーク	アダプタ マッピング		- 0
🗆 🥅 ストレージ	[Datastore]	マスタアダプタとレブリカ アダプタの間	間のネットワークマッピングを設定してください。		
📕 動的ディスクを使用	オン				
📕 リソース ブール		マスタ ネット	トワーク アダプタ	レブリカ ネットワーク アダ	ブタ
□●仮想マシン設定		▶ ens192 virbr0		VM Network 〈学のアダプタ〉	
🔲 CPU בער	1				
📕 メモリ サイズ (MB)	4096	マスタ アダプタ情報	レプリカ アダプタ設定方法		
■仮想マシン名	centos75_432186735_2	ens 192	ターゲット アダプタを設定する マスタ上のルーティング テープ	方式を選択してください。 ルをカスタマイズし、別のサブネットを使用したナ	暴合は、スイッチオー
🧾 ネットワーク アダプタ タイプ	E1000		バー VM のルート テーブルを つ マフク マダウク体報の適用	確認してください。 3	
🧾 アシュアード リカバリ ネットワーク アダプタ マッピング	クリックして物理ネットワークマッピングを編集	DHCP 有効 いいえ	<ul> <li>アダプタ情報のカスタマイン</li> </ul>	2	
🧾 ハイ アベイラビリティ ネットワーク アダプタ マッピング	ネットワークマッピング割り当て済み	IP アドレス	IP 該定 DASSEMINS		
<b>□ □</b> スプール		サブネット マスク	P		
■ ● リカバリ		255 255 255 D ゲートウェイ	IP 192.168. 10. 99	マスク 255255255.0	追加
💷 ボリューム スナップショット管理プロパティ		19216810184	IP アドレス	サブネット マスク 255 255 255 0	ă BR
				200.200.200.0	-
			H-LO-/		
			ゲートウェイ		iêtn
			ゲートウェイ		Ř. IER
			192.168.10.184		
				05(0)	

無停止テストを終了させるには、[レプリカ整合性テスト]のボタンまたはメニューをクリックします。

Step4

・無停止テストが終了すると[レプリカ "マシン名" での"シナリオ名"整合性テストが終了しました]と表示され、自動的にレプリケーションが再開されます。



イベットシナリオの検証結果「適用されたプロパティ変更結果」

#### 9. ファイルのリストア手順

仮想アプライアンスに複製されたデータを、ファイル単位でマスタサーバにリストアすることができます。



リストアの手順は以下をご覧ください。



リストア対象のシナリオを停止後、[シナリオ ビュー] で対象シナリオ、もしくはリスト **1** ア元となるレプリカを選択し、ツールバーの[データのリストア]ボタンまたは、メニュー の [ツール] - [データのリストア] をクリックします。

3 ゲリカ: 第二、 パント また、 クラクド ツール ヘルブ         (*) ジリカ: (*) ・ パン・ (*) \cdot (*	🔕 Arcserve RH	A マネージャ - @	rha18-control:808	8			-		×
Control 2	シナリオ 編集	イベント表示	クラウド ツール	ヘルプ					
(1) 7177 (2)       (2) 7777 (2) 7777 (2)       (2) 77777 (2) 77777 (2) 77777 (2) 77777 (2) 77777 (2) 77777 (2) 77777	📫 🗀 🗐 🕲		Ph ≠⊈ \$73 SH h	1. III 🧐 🛋 🗟 🖸 1-9 🚷	_				
(1)     (1)<		- 🗐 🖓		山田 24 450 25 25 23 4 2 45	* !> x\\_+\\_ ==q				
2007日     101/57     101/57     101/57       2017日     102/107     101/57     101       2017日     102/107     101/57     101       2017日     102/107     101/57     101       2017日     101/57     101     101       2017日     101/57     101     101       2017日     101     101     101       201700114     101					N アンティンス ビーン 🗣				
						1	/+		
37/37       秋本       10       15/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7       10       10/7 <t< td=""><td>- <u> </u></td><td></td><td></td><td></td><td>70//7-</td><td>1</td><td>10</td><td></td><td></td></t<>	- <u> </u>				70//7-	1	10		
です         シークシス         単成市         パトックナス         25/度         ホトック・トラインのドリ         ションパク・レック・レック・レック・レック・レック・レック・レック・レック・レック・レッ	シナリ	ist   3	快速 製品	<u>サーバ モード</u>	出見 スイッチオーバー				
	E El FullSys	tem 1-	プによ… HA/AR	フル システニオンライン					
Contrist 7.     Contris 7.     Contris 7.     Contrist 7.     Contrist 7.     Contrist		· 変更済	送信デ 送信フ	受信デ 受信フ スプール	■ ■ ■ ネットワーク トラフィック リタイ レクション				
	🖃 🎫 cento	\$/0							
	- Cen	1087							
					■ ● ▶ 切号のアクション				
Control 2019/08/14 9:50 09 「同地を引かった」     Control 275va     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 275va     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 275va     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 275va     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 275va     Control 275va     Control 2019/08/14 9:50.09     Control 2019/08/14									
ペント         シーケンス 重大度         ホスト/シナリオ         時間         マイント         イベント           メッセージ ID         シーケンス 重大度         ホスト/シナリオ         時間         マイベント           M00405         4411         3         時間         マイベント           SR00202         4408         重要         Certos 75va         ジ 2019/08/14 9:55:02         IMPL - サミノクの再間           SR00202         4408         重要         Certos 75va         ジ 2019/08/14 9:50:02         IMPL - サミノクリケートされました           SR00120         4407         重要         Certos 75va         ジ 2019/08/14 9:50:09         IMPL - サミノクリケートされました           R00113         4406         手帽 一 Certos 75va         ジ 2019/08/14 9:50:09         IMPL - サ・ノクリケートされました           R00119         4406         手帽 一 Certos 75va         ジ 2019/08/14 9:50:09         IMPL - サ・ノクリ ン/ 以信 同期 とれました									
Comparison in the interval of the inte									
パンド         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
ペント       チャント・ディレクドリ ● プロパティ ● フロパティ ● フロパクティ ● フロパティ ● フロパク・● フロパティ ● フロパティ ● フロパク・● フロパティ ● フロパク・● フロパティ ● フロパク・● フロパティ ● フロパク・● PII ●									
(ペント         レートディレクトリ ● プロパティ ● ハイ アベイラビリティブロパティ         レート ディレクトリ ● プロパティ ● ハイ アベイラビリティブロパティ         マロ・マーク           メッセージ コロ         シーケンス         重大度         オスト/シナリオ         時間         マ         イベント           M00405         4411         査         情報         毎日/19/98/14 9:50.24         18 Aive チェックク の間間         2019/08/14 9:50.24         18 Aive チェックの 可聞           SR00202         4408         査         重要         ○ centos 75va         10 2019/08/14 9:50.29         同期処理中の変更なすべてレプリケートされました           SR00120         4407         査         重要         ○ centos 75va         10 2019/08/14 9:50.09         同期処理学研究 ではよた           R00119         4406         査         情報         ○ centos 75va         10 2019/08/14 9:50.08         ルートディレクリリノ (は同期にはた)           100119         4406         査         情報         ○ centos 75va         10 2019/08/14 9:50.08         ルートディレクリリノ (は同期にはた)									
Control 2019/08/14 9:50:29 同期処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR00101 4407 素 重要 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同期処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同期処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同期処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同規処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同規処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同規処理中の変更はすべてレフリケーとれました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:09 同規処理が終了しました     FR0119 4406 素 情報 ■ certos 75va 10 2019/08/14 9:50:08 ルートディレクリリ/は同胞にれました									
(◇)ト         () → ト ディレクトリ () づロパティ () ハイ アベイラビリティ ブロパティ         () イ アベイラビリティ ブロパティ           メッセージ ブロ         シーケンス 重大度         オスト/シナリオ         時間         () イベント           M00405         4411         3 情報         () FullSystem         () 2019/08/14 9:50.02         2019/08/14 9:50.02         2019/08/14 9:50.02         10 Alve チェックの可聞           SR00401         4409         3 重要         () centos 75va         () 2019/08/14 9:50.09         同期処理中の変更なすべてレブリケートされました           SR00120         4407         3 重要         () centos 75va         () 2019/08/14 9:50.09         同期処理学校家 T ひました           R00119         4406         3 情報         () centos 75va         () 2019/08/14 9:50.08         () レートディレクトリ / () () () () () () () () () () () () ()									
CONTROL CONTRUCINCE CONTROL CONTROL CONTROL CONTRUCT CONTROL CONTROL CONTROL C									
パペント         ● 4           タッセック ID         シーケンス 重大度         ホスト/シナリオ         時間         ▼         イベント           M00405         4411         査 情報         画FullSystem         10 2019/08/14 9:53.08         2019/08/14 9:50.09 (cfr.ck.ch.c. 同期) レポートを[レポート] ハポストレビビ           SR00401         4409         査 重要         二 centos 75va         10 2019/08/14 9:50.02         同期処理中の変更はすべてレブリケートされました           SR00120         4407         査 重要         三 centos 75va         10 2019/08/14 9:50.09         同期処理中の変更はすべてレブリケートされました           R00119         4406         査 情報         三 centos 75va         10 2019/08/14 9:50.09         同期処理が終てしました           R00119         4406         章 情報         三 centos 75va         10 2019/08/14 9:50.09         同期処理が終てしました					🛅 ルート ディレクトリ 闦 プロパティ 疑 ハイ ア	ベイラビリティ プロパティ			
メッセージ ID         シーケンス         重大度         ホスト/シナリオ         時間         ✓         イベント           M00405         411         査         情報         ■FullSystem         ゆう 2019/08/14 9:53:08         2019/08/14 9:50:09         (定はた式れた 同期 レポートを[レポート]へポストして)           SR00202         4408         査 重要         ■ centos 75va         ゆう 2019/08/14 9:50:22         同期処理中の変更はすべてレブリケートされました           SR00202         4407         査 重要         ■ centos 75va         ゆう 2019/08/14 9:50:09         同期処理中の変更はすべてレブリケートされました           SR00120         4406         査 情報         ■ centos 75va         ゆう 2019/08/14 9:50:09         同期処理かあてしました           R00119         4406         査 情報         ■ centos 75va         ゆう 2019/08/14 9:50:08         ルート ディレクドリ / 以行 同時 たれました	(ベント							-	. <b>ф</b> . :
M00405       4411       ① 情報       ■FullSystem       ② 2019/08/14 9:53.08       2019/08/14 9:50.09 (注作成された 同期 ルポートを[レポート]へポストして()         SR00401       4409       ③ 重要       ■ centos75va       ③ 2019/08/14 9:50.24       Is Alive チェックの再開         SR00202       4408       ③ 重要       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.22       同期処理の変更はすべてレッソケートされました         SR00120       4407       ④ 重要       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.29       同期処理が終了しました         SR00120       4407       ④ 重要       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.29       同期処理が終了しました         SR00120       4407       ④ 重要       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.09       同期処理が終了しました         SR00120       4407       ▲ 重要       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.09       同期処理が終了しました         SR00120       4404       ▲ fem       ■ centos75va       ④ 2019/08/14 9:50.09       □ 川処理が終了しました         SR00110       4404       ● fem       ■ centos75va       ● 2019/08/14 9:50.08       □ ト ポット ディントリノ (ば同期応れました)	メッセージ ID	シーケンス	重大度	ホスト/シナリオ	時間	∇ 1400h			
SR00401         4409         重要         ■ centos75va         10 2019/08/14 9:50:24         Is Alive チェックの再開           SR00202         4408         重要         ■ centos75va         10 2019/08/14 9:50:22         同期処理中の変更はポペレブリケートされました           SR00120         4407         重要         ■ centos75va         10 2019/08/14 9:50:09         同期処理が取了しました           R00119         4406         重 emtos75va         10 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクリ / は同時におました           SR00120         4404         第 情報         ■ centos75va         10 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクリ / は同時におました	M00405	4411	<u>乳</u> '情報	FullSystem	(1) 2019/08/14 9:53:08	'2019/08/14 09:50:09' (ご作成さ	れた 同期 レポートを[レポ・	-ト]へポス	νυτι
SR00202         4408         重要         ■ centes 75va         100 2019/08/14 9:50:22         同期処理中の変更はすべてレブリケートされました           SR00120         4407         重要         ■ centes 75va         100 2019/08/14 9:50:09         同期処理が終了しました           R00119         4406         量 情報         ■ centos 75va         100 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクリー / cl同期を注意           100119         4406         量 情報         ■ centos 75va         100 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクリー / cl同期を注意	SR00401	4409	 重要	📃 centos 75 va	2019/08/14 9:50:24	ls Alive チェックの再開			
SR00120         4407         重要         ■ centos75va         ② 2019/08/14 9:50:09         同期処理が終了しました           R00119         4406         ① 情報         ■ centos75va         ③ 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクトリノは同期だれました           C000401         4404         ● ###         ■ centos75va         ⑩ 2019/08/14 9:50:08         ルートディレクトリノは同期だれました	SR00202	4408	<u>1</u> 重要	💻 centos 75 va	2019/08/14 9:50:22	同期処理中の変更はすべてし	プリケートされました		
R00119 4406 🤮 情報 🛛 🤤 centos75va 🧑 2019/08/14 9:50:08 ルートディレクトリノは同期だれました	SR00120	4407		💻 centos 75 va	2019/08/14 9:50:09	同期処理が終了しました			
CPDRAD1 4404 9 年前 ゆうりりのの0/14.0.40.0E L Mini- 1->方の市田	R00119	4406	<u></u> 	💻 centos 75va	2019/08/14 9:50:08	ルート ディレクトリノは同期されま	した		
	1000401	4404	9 <del></del>	<b>-</b>	10 2010 /00 /14 0.4C.0E	I- Alia イーックの正明			······ '

※ シナリオを停止しないと、[データのリストア]は選択できません。

#### リカバリ ポイントを確認し、[次へ] をクリックします。

**Step2** ※ フォワード シナリオを実行したことがある場合は、各シナリオのリカバリ ポイント が指定できます。

🛃 データのリストア ウィザード	- <b>D</b> X
	リカバリ ポイントの選択
✓ フル システム リカバリ ▶ リカバリ ポイントの選択 リカバリ ディレクトリ	以下のブックマークからリカバリ ポイントを選択します。これらのリカバリ ポインドはフォワード シナリオによって作成 されました。
リカバリ先	名前時間
リカバリ検証	温 最新システム ステータス
	戻る(B) 次へ(N) 実行(R) キャンセル(C)

 Step3
 代替 VM を自動でシャットダウンする確認メッセージが表示されますが、[OK] をクリックします。(代替 VM の有無、実行中/停止中に関わらずメッセージが表示されます)



#### **Step4** リストア対象のファイル/フォルダを選択し、[次へ]をクリックします。

🛃 データのリストア ウィザード	- 0 >	×
	マスタ ルート ディレクトリ	
<ul> <li>✓ フル システム リカバリ</li> <li>✓ リカバリ ボイントの選択</li> <li>▶ リカバリ ディレクトリ</li> <li>リカバリ ディレクトリ</li> <li>リカバリ先</li> <li>リカバリ検証</li> </ul>	チェックボックスでソースホスト上のリカバリディレクトリを選択してください。レブリケート対象から除外するコン テンツがある場合は、選択したルートディレクトリた内ロサブフォルダまたはファイルのチェックボックスをオフにしま す。マスク(たとえば*tmp)に基づいて含めるファイルと除外するファイルを選択するには、[ファイルフィルタ] セクションを使用します。	× ×
	ファイル フィルタ     適用(A)       除外するファイル ~     適用(A)       ディレクトリ フィルタ     適用(A)	
	ディレクトリ ティレクトリ □□ディレクトリ □/root/ドキュメント ・	
	戻る(B) 次へ(N) 実行(R) キャンセル(C)	

[リカバリ ホスト名/IP]にリストア先のマシン名を入力し、ユーザ名とパスワードなどの Step5 認証情報をそれぞれ入力して、[次へ]をクリックします。

🛃 データのリストア ウィザード	- D X
<ul> <li>✓ フル システム リカバリ</li> <li>✓ リカバリ ボイントの選択</li> <li>✓ リカバリ ディレクトリ</li> </ul>	リカバリ先 ウィザードが宛先マシンのステータスを確認できるように、以下の情報を入力してください。 注: RHA エンジンが宛先マシン上に見つからない場合、ウィザードはエンジンをインストールします。
▶ リカバリ先 リカバリ検証	リカバリ ホスト名/IP centos75 … ポート 25000
	ホスト 'centos75' に対するユーザ アカウント ユーザ名: root
	パスワード: ************************************
	戻る(B) 次へ(N) 実行(R) キャンセル(C) #

Step6

シナリオの検証が行われます。エラーや警告のメッセージが表示されていないことを確認し、[実行]をクリックしてください。

エラーや警告が出た場合は、問題を解決した後再試行してください。



#### RHA マネージャのイベントに「リカバリ プロセスが終了しました。」というメッセージ **Step7** が表示されればリストア完了です。リストア後に元のシナリオが再表示され、リカバリ シナリオは自動的に削除されます。

※ リストア確認後、シナリオの実行は手動で行ってください。

Arcserve RHA	A マネージャ - @	rha18-control:808	8			-		×
シナリオ 編集	イベント 表示	クラウド ツール	ヘルプ					
📑 🗀 🖾 🖏		- <b>-</b>	. 11 🧐 🛋 🗟 🗇 14 🚷 .					
	-	2995 Pa- 😹 🛙	リモートインストーラ モニタ 🧠 ホストメン	テナンス モニター				
シナリオ ビュー			- 4 X	ปีวัยหัวง			<b>.</b>	×
😑 品シナリオ				シナリオのプロパティ				$\sim$
	Jat	状態 も	温 サーパ モード		プロパティ	値		
E FullSyst	tem 1	ーザにより HA/A	IR フル システム オンライン	●●全般				
# <b>7</b> 1	· 変更済	み 送信データ 送信	ファ 受信データ 受信ファ スプール	🗉 🕘 レプリケーション				
😑 📑 centos	:75			■●イベント通知				
- Øcent	ios75			Ⅲ●レポート処理				
					74 //45057 70/57			
1/01		1					•	łΧ
メッセージ ID	シーケンス	重大度	ホスト/シナリオ	時間				^
IM00526	4433	<u>11</u> 1合单位 21	FullSystem	U19/08/14 10:37:39	リカハリフロセスが終了しました。			
5800139	4432	1 里安	Ecentos / Sva	10:34:42	シテックッカバリ_FullSystem を19 つってょう同期を開始しています。の	っ正ししいます 司→サイブ/面新日時のつっイ	山を無知オス	
000100		4 <del>4</del> <del>7</del>		U 2010/00/14 10.04.00	[[rha18-control からのユーザ RH	A18-CONTROL¥administrate	y emor 9 a yr]]	1
SR00014	4420	🧾 重要	iiicentos75va	2019/08/14 10:34:16	シナリオ リカバリ_FullSystem [rha RHA18-CONTROL¥administrate	18-control からのユーザ rlを開始しています		
IM00405	4411	8 1849	and Fill Svetem	7th 2019/08/14 9-53-08	2019/08/14 09-50-09 (://F6\$\$\$1 1-1	司期 レポートな「レポート1へポス」	しています.	× *
1 ( m) + 1 + 1 + m		田されたプロパニィ液	面红田					
1110F 197940	nxalfox (18)	市に110とノロハナイ 38						

10. 代替 VM への手動切り替え手順

RHA マネージャを使い、任意のタイミングでアクティブな業務マシンをマスタから代替 VM に切り替え ることができます。

切り替えの手順は以下をご覧ください。

#### [シナリオ ビュー] で対象シナリオ、もしくはリストア元となるレプリカを選択し、ツー Step1 ルバーの[スイッチオーバーの実行]ボタンまたは、メニューの [ツール] - [スイッチオー バーの実行]をクリックします。



#### マスタサーバのネットワークが無効になる確認のメッセージが表示されます。 Step2 問題無い場合は[はい]をクリックし、スイッチオーバーを実行します。



RHA マネージャのイベントに「スイッチオーバーは完了しました。ホスト"マスタマシ Step3 ン名"のマスタと同じ名前の仮想マシンは、現在アクティブです。」というメッセージが 表示されればスイッチオーバーは完了です。

O Arcserve R	HA マネージャ -	@rha18-control	:8088			- 0	ı ×
シナリオ 編集	ミ イベント 湯	長示 クラウド ツ・	ール ヘルプ				
📑 🗀 🗐 🖁		1 <b>9.</b> pri 72 A	1 h. o 🖉 🛋 😪 (	0 14 🚷 🖕			
Struct P	1- 🗐 スナッ	プショットドュー は	N リモート インストーラ モニ	タ 😤 ホストメンテナン	7 <del>1</del> 2		
シナリオ ビュー				- + × 👫	ハイ アベイラビリティ プロパティ		<b>•</b> #
■品シナリオ					プロパティ	値	
3,-	+117	₩₽	1-1+ 品牌	E-k		12	
E TE FullSy	stem	接结中 日	IA/AR フルシステ	トオンライン			
л. т.	지ト 変更	三済み 送信データ	送信ファ 受信データ 受	信ファ スプール	- ● ハスト B● ネットワーク トラフィック リダイレクション		
😑 😿 centi	os75				B Alive		
- Øce	ntos75				Belle DB 管理		
				(	□ 1 成功時のアクション		
				~			
					וא-א דירעאדי 📵 איראדי איז איז איז איז איז איז איז איז איז אי		
イベント							<b>→</b> ₽
メッセージ ID	シーケン	ス 重大度	ホスト/シナリオ	時間	マーイベント		
EM00166	4461	<b>9</b> I⊃−	📑 Full System	2019/08/14 11:	D centos75 に接続できません。接続を試行しましたが、確立されずにタイムアウ	フトしました	
IR06020	4466	<u>乳</u> 「香菜」	📃 centos 75va	2019/08/14 11:00:	5 1次返マンフは現在オフラインにす。		1
SR00316	4467	<u>乳</u> 重要	📃 centos 75va	2019/08/14 11:	0 スイッチオーバーは完了しました。ホスト esx65 の上のマスタと同じ名前の仮想	想マシンは、現在アクティブです。	
IR00297	4464	<u>乳</u> 情報	📃 centos 75va	0 2019/08/14 11:00			_
IR06021	4465	<u>乳</u> 情報	📃 centos 75va	0 2019/08/14 11:00	48 仮想マシンの Is Alive ステータスを確認しています。		
IR03157	4463	<u>乳</u> '情報	📃 centos 75va	2019/08/14 11:00:	47 仮想マシン centos 75_432186735_2 の電源をオンにします		
1000407	4462	▲ 情報	💻 centos 75va	2019/08/14 11:00:	45 ディスク [Datastore] CentOS75va/S432186735_sda-000002.vmdk をマウント解除し	ています	
IR03167							
SMOO164	4459	<b>2</b> 新西	E II Svetam	A 2019/08/14 11-	n cantos 75 との違結が牛われ キI.た		>

### <参考> 代替 VM からマスタサーバにシステム復旧する方法

代替 VM を Arcserve UDP でバックアップしたデータを使い、UDP の BMR 機能でマスタを復旧することができます。



Arcserve UDP for Linux のインストールやバックアップ、システム復旧については、以下の Arcserve UDP の技術文書等をご覧ください。

「Arcserve UDP 7.0 Agent for Linux 環境構築ガイド」 http://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/05/udp-70-linuxagent-install-bmr-guide.pdf

#### 11. 製品情報およびお問い合わせ情報

製品のカタログや FAQ などは製品ポータルにて、動作要件などのサポート情報については、サポートページから参照します。

#### 11-1 製品情報

・ Arcserve シリーズ ポータルサイト:

https://www.arcserve.com/jp/

• Arcserve Replication / High Availability 18.0 動作要件:

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-RHA-18-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

- ・ Arcserve Replication / High Availability 18.0 製品ドキュメント: https://documentation.arcserve.com/Arcserve-RHA/Available/18.0/JPN/Bookshelf.html
- ・ Arcserve RHA のサポート FAQ:

https://support.arcserve.com/s/article/214511063?language=ja

#### 11-2 お問い合わせ

本ガイドに関するご質問やお問い合わせ、製品ご購入前のお問い合わせはジャパン ダイレクトま でご連絡ください。

Arcserve ジャパン・ダイレクト連絡先

フリーダイヤル:0120-410-116

E-mail : JapanDirect@arcserve.com

営業時間:平日 9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます。

※ Facebook ページ(Arcservejp)でも受け付けています。